

主題：信徒

メッセージ 40

彼らの現在——団体的に神聖な三一の神聖な分与を経験する (2)

義と平和と聖霊の中の喜びとしての神の王国の中に生きることによって

聖書：ローマ 14:17. マタイ 5:6, 9, 20. 6:33. エペソ 2:14-15. コロサイ 3:15. ピリピ 4:4

I. 神の王国は義です——ローマ 14:17：

- A. 義とは、正しく、適切であることを示します。神の王国の中に生きる人たちは、他の人たちに対して、事柄に対して、自分自身に対して正常で、正しくあるべきです——マタイ 5:6. 6:33。
- B. 最も義である人たちは、キリストの中に生きている人たちです。わたしたちの内側に生きているキリストは、あらゆる方法においてわたしたちを義とします——ピリピ 1:21 前半. ガラテヤ 2:20。
- C. 新約によれば、義には四つのおもな面があります：
 1. 義とは、神の義と厳格な要求にしたがって、人、物、事に対して正しくあることです——マタイ 5:20。
 2. 義とは、命を与える霊としてわたしたちの中に生きておられるキリストの外側の表現です——II コリント 3:9, 18. I コリント 15:45 後半：
 - a. その霊は、わたしたち内側で生き、動き、行動する神の本質です。義は神の本質が神のかたちとして外側に現されて、彼を表現することです——エペソ 4:24. コロサイ 3:10。
 - b. わたしたちの中へと書き記された神聖な本質には特定の表現があり、この表現は義です——II コリント 3:3, 9. マタイ 5:20。
 3. 義とは神の王国の事柄です——6:33
 - a. 神の御座は、基礎としての義で設立されています——詩 89:14. 97:2。
 - b. 義は、神の行政のため神から出て来るので、神の支配と統治と関係があります——イザヤ 32:1
 - c. 義はまず神のかたちからという結果となり、それから、神の王国を設立します——ローマ 8:4, 29. 14:17。
 4. 義とは、わたしたちの存在の中で、神に対して正しくあることです——I コリント 15:34. II コリント 5:21：
 - a. わたしたちの存在の中で、神に対して正しくあることは、透明で、水晶のように透明なわたしたちの内なる存在、すなわち、神の思いとみこころの中でわたしたちの内なる存在を持つことです——啓 21:11, 18 後半, 21 後半. 22:1。
 - b. このように義であることは、キリストの中で神の義となることです——II コリント 5:21。

II. 神の王国は平和です——ローマ 14:17：

- A. わたしたちの御父は平安の神であり、平安の性質を伴う平安の命を持っています——15:33. 16:20. マタイ 5:9. ヘブル 12:14. ヤコブ 3:18. II テサロニケ 3:16 前半。

- B. キリストの中にある平安、キリストである平安、キリストによって造られた平安、キリストによって福音として宣べ伝えられた平安は、からだの平安であり、からだの中にあります——エペソ 2:14-15, 17. 6:23. ガラテヤ 6:16. コロサイ 1:20. 3:15.
1. からだの中で生きること、からだの一を保つことは、からだの平安の中に生きることです。キリストのからだの中で、またそのために、わたしたちは平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保たなければなりません——エペソ 4:3。
 2. わたしたちはできる限り、あらゆる人と平和に生活すべきです——ローマ 12:18. ヘブル 12:14。
- C. からだの生活のために、わたしたちはキリストの平安に、わたしたちの心の中にあるすべてのことを裁定させる必要があります——コロサイ 3:15。
1. キリストの裁定する平安とは、キリストがわたしたちの内側で働いて、彼の支配をわたしたちに対して行使し、最終決定を下すことです——イザヤ 9:6-7。
 2. キリストの平安に、わたしたちの心を裁定させるために、キリストの平安は、あらゆることにおける支配者、また決定者の位に就かせられなければなりません——ヘブル 7:2。
 3. からだの生活において、神の平安は、わたしたちの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛して下さいます——ピリピ 4:7, 9。
 4. からだの生活において、わたしたちの心は、肢体に対して平和な状態にあるべきです。なぜなら、わたしたちは、一つからだの中でキリストの平安に召されたからです——コロサイ 3:15。

III. 神の王国は聖霊の中の喜びである——ローマ 14:17 :

- A. 召会の中で王国の生活を生きるとは、わたしたちが聖霊の中で、喜んで神に生きることを要求します——I ペテロ 1:8. マタイ 5:11-12. 使徒 5:41. 13:52. ピリピ 2:17-18 :
1. 喜んでいないことが示すことは、わたしたちが敗北して、何かがわたしたちにとって間違っており、わたしたちが神聖な自制心を放棄したということです。結果として、わたしたちの霊は重荷を負わせられ、わたしたちは喜ぶことができなくなります——4:4. I テサロニケ 5:16。
 2. わたしたちが義と平和の生活を生きるなら、わたしたちは聖霊の中で、喜んで神に生きます——ローマ 14:17。
- B. 三一の神は、喜びの神です。使徒たちは聖徒たちの喜びのために、聖徒たちと共に働く同労者です——ローマ 15:13. ヨハネ 15:11. 17:13. 使徒 13:52. ガラテヤ 5:22. II コリント 1:24. ピリピ 1:25. 2:17-18。
- C. 神の御言の中で啓示されている甘美な思想は、キリストの中で、神は、ご自身を恵みとしてわたしたちに与え、わたしたちの享受となられたということです——ヨハネ 1:14, 16-17. II コリント 13:14 :
1. 神と人との関係について、聖書の中で最初に言及されていることは、神がご自身を食物として人に与えるということです。これは、神が、わたしたちに彼を享受してもらいたいことを示しています——創 2:7, 9. 詩 16:11. エレミヤ 15:16。
 2. わたしたちが見る必要があるのは、神の願いが、ご自身をわたしたちに与え、わ

たしたちの享受となることであるということです——ネヘミヤ 8:10。

3. クリスマン生活の秘訣は、わたしたちがどれほど彼のために働いたかではなく、わたしたちがどれほど彼を吸収し、享受したかということです——ヨハネ 15:4-5. コロサイ 2:6-7。
4. わたしたちがイエスをひたすら見つめて、わたしたちの前に置かれている喜びを見るなら、わたしたちは前に置かれているレースを、忍耐をもって走ることができます——ヘブル 12:1-2